

令和1年8月7日

放射線部核医学検査室にて
骨シンチグラフィを受けられた患者さんへ

「骨シンチグラフィにおける画像再構成方法の違い による定量値の変動に関する研究」 へ協力をお願い

(研究期間：倫理審査委員会承認日～2024年3月31日)

放射線部核医学検査室では、過去に下記のような診療を受けた患者さんのデータを用いた臨床研究を行います。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表しません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究目的：本研究は、骨シンチグラフィにおいて少ない収集時間で従来と同程度の画像作成が可能とされる再構成法と、従来までの画像再構成法での定量値を算出し、放射線科医の診断と比較することを目的としています。

研究内容：核医学検査には骨へ特異的に集積する医薬品が存在し、骨造成を反映するため悪性腫瘍の骨転移を検出する事などに利用されます。この集積の度合いを定量評価する方法として BONENAVI という専用ソフトウェアを用いますが、これは定量値を算出する際、撮影した画像をニューラルネットワークが解析し転移のリスクを表示します。2018年7月に核医学診断装置が更新され、少ない収集時間で従来までの画像再構成と同程度の画像を撮影する事ができる画像再構成方法が組み込まれました。これについて、従来までの画像との BONENAVI による定量値の変動について放射線科医の診断と比較し検討を行います。

対象：2018年5月～2019年3月に当院において骨シンチグラフィを受けられた方

研究に用いる情報の種類：骨シンチグラフィを施行した方の年齢・性別および撮像によって得た DICOM データを電子カルテシステムより取得し使用します。

研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者さんのデータを使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、

以下にご連絡ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

この研究に関して不明な点がある場合は、以下にご連絡ください。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 放射線部 核医学検査室

電話番号 058-230-7070

研究責任者：石原 匡彦